

# 議会だより

## 新年のごあいさつ



副議長

廣岡 芳樹



議長

板東 敬治

新年、あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市議会の活動に温かい御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、地震、酷暑、台風など、相次ぐ甚大な災害に見舞われた年でした。かつて経験したことのない状況下で、議会においても瞬時に判断を迫られる場面もありました。これら連年の対応について検証を行い、改善することで、本市の安全安心の向上につなげていきたいと考えております。

さて、時代の変化とともに、地方自治を取り巻く環境が複雑・多様化する中、地方自治体は、自らの判断と創意工夫により、地域の実情に即した施策を主体的に推進する必要があります。

このような中、市議会として、この役割を果たすべく、昨年7月に、「公共施設の在り方調査特別委員会」を設置し、公共施設の安全性の検証や、今後の在り方など諸課題について調査・協議を行って

り、8月22日には、第2次報告書の提出を受け、市長に対し、申入れを行いました。

更に、総合センターの機能移転等について、9月議会においては、寝屋川市議会初となる、全議員参加の連合審査会を開催し、活発な質疑を行うなど、議会の活性化に取り組んでおります。

また、平成29年9月に議会に設置した、学識経験者等5名による「寝屋川市議会専門的事項に係る調査会議」からの調査報告書を受け、9月定例会で、議員報酬の減額を決定する等、議会改革に努めている次第です。

本年4月に、本市は中核市へ移行いたします。大阪府から移譲される事務や権限によって、これまで以上に高度で充実した市民サービスの提供に、行政と共に取り組んでまいれる所存でございますので、市民の皆様の一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとりまして、飛躍と発展の素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。

### 誌面のご案内

新年の抱負	1～4
決算審査のあらまし	5～6
委員会視察の報告	7

### 謹賀新年

市議会議員は、公職選挙法で市内での年賀状や挨拶状などを出すことが禁止されているため、本誌面をもって、新年の挨拶にかえさせていただきます。

市民の皆様のご御理解をお願い申し上げます。

**新風ねやがわ議員団**

**安全で安心できるまちづくりの政策実現について**

新年明けましておめでとうござい  
ます。我が会派は、議会において「議  
論する会派」として政策提言を行っ  
ております。これからも市民の皆様  
の生活（くらし）を守るために、議  
会での職務職責を果たして参ります。

**まちづくり整備事業及び  
都市計画道路整備の推進**

東寝屋川駅前沿道地区まちづくり  
整備、小路土地区画整理事業、京阪  
連続立体交差事業、都市計画道路対  
馬江大和線や東寝屋川駅前線などの  
事業が進められています。事業の更  
なる推進と早期の完成に向け、取組  
強化を図ることを求めます。

**災害発生への備えと災害対策本  
部の運営準備等について**

昨年、大阪府北部地震や台風21号  
等による災害が発生しました。南海  
トラフ巨大地震が30年以内に70％  
80％の確率で発生するとの予測もあ  
ります。市民の「命」と「暮らし」  
を守る対策を講じておくことが重要  
です。地域防災力を高め、各種機関  
との連携や常日頃からの防災意識へ  
の向上が肝要です。避難所開設等の  
自主防災訓練の徹底と災害発生時、  
職員がどう対応すれば良いか寝屋川

市地域防災計画に基づいた教育研修  
を徹底することを求めます。

**小中一貫校の整備、校区の在り  
方、通学路の安全確保について**

平成34年度の全市的な小中一貫校  
の移行に向けた取組を推進するとと  
もに第28次校区問題審議会への諮問  
を経て学校規模の適正化を図ること  
を求めます。また通学路等における  
危険箇所の把握や対応については、  
市役所内の各課との連携や学校との  
連携をスムーズに行い、迅速な対応  
を行うことを求めます。

**切れ目ない妊娠・出産・子育て  
包括支援について**

不妊治療、妊娠、出産、子育て  
を一貫した子育てパッケージとし、誰  
もが安心して子どもを産み、育てる  
ことが出来る環境づくりを求めます。  
切れ目のない子育て支援において、特  
に弱い産後部分の支援強化に向けて、  
産後ケアのサポートを中心に、産後ケ  
ア事業の更なる充実を図ることを求  
めます。

**国民健康保険財政健全化及び保  
険料のより一層の引下げへ**

我が会派はこれまで国民健康保険  
料の引下げを求めてきましたが、30  
年度の保険料率は据え置かれました。  
標準世帯の保険料額は未だ高水準に  
あります。様々な方策とともに、国  
保財政健全化基金の活用により国民  
健康保険料の引下げを求めます。



**金子 英生**

太秦桜が丘1番18号  
☎ 821-5774



**池 真一**

木田町13番11号  
☎ 828-2669



**井川 晃一**

成田東町6番7号  
☎ 842-3500



**北川 光昭**

対馬江東町6番1号  
☎ 838-5811



**山崎 菊雄**

若葉町34番10号  
☎ 829-1900



**森本 雄一郎**

清水町32番18-204号  
☎ 888-3085



**廣岡 芳樹**

高宮一丁目12番16号  
☎ 821-4657



**北川 健治**

仁和寺本町二丁目4番8号  
☎ 827-6820

公明党市会議員団

日ごとに高まる

中核市への期待

施策にどう反映するかを問う

明けましておめでとうございます。まちづくりの新たなステージを迎え、暮らしやすいまちづくりへ全力で取り組んで参ります。

子どもを守る

- 特別教室・体育館のエアコン設置 拡充
- 幼児教育の無償化拡充
- 学校給食費の無償化
- 防災教育の実施
- 小学4年生の35人学級の導入
- がん教育・生活習慣病教育の推進と認知症教育の拡充
- 子ども実態調査の実施（子どもの貧困の把握）
- 中学校給食の改善

街を守る

- 総合センターの在り方を早急に検討
- 交通不便地の解消
- JＲ東寝屋川駅周辺の整備促進
- 動物愛護の取組促進（地域猫活動の充実、譲渡会の開催等）
- 婚活支援事業の導入

くらしを守る

- 介護保険料の負担軽減
- 高齢者交通系ICカード購入補助

事業の助成拡充

- 駅前図書館の整備拡充（JＲ東寝屋川駅・京阪香里園駅・京阪萱島駅）
- 災害見舞金制度の拡充
- 消費税率引き上げに伴う負担緩和（商品券発行、ポイント還元等）
- フードドライブ事業の拡充

命を守る

- 猛暑対策（クールスポット・グリーンカーテンの設置など）
  - 口腔ケアの有効性の更なる周知・啓発（各種行事の活用）
  - 浸水対策への自助の取組（止水板・雨水貯留タンク設置等の普及促進）
  - がん検診受診率向上施策の推進（乳がん自己検診啓発ツール等の普及促進）
  - 高齢者肺炎球菌ワクチン費用助成の継続
  - 非常災害時にバンダナを活用（障がい者等）
  - 災害時用備蓄品に水の不要な液体ミルクを常備
- など101項目を予算要望しました。



榎本 孝志

打上高塚町1番3-128号  
☎ 825-2190



岡 由美

田井町33番33号  
☎ 831-8700



池添 義春

高柳五丁目3番1号  
☎ 839-4171



野々下 重夫

豊野町15番33号  
☎ 823-5988



村上 順一

南水苑町5番12号  
☎ 811-0205



高見 雄介

上神田一丁目44番27号  
☎ 828-0814



住田 利博

仁和寺本町四丁目10番22号  
☎ 828-5422

**日本共産党市会議員団**

**市民の暮らしを守る自治体へ**

**国の悪政をチエンジ**

昨年は自然災害が多発し、本市でも大きな被害がありました。より一層の防災・減災の取組が必要です。同時に、4月の中核市移行に向け、必要な職員体制の確保と人材の育成が求められます。

日本共産党市会議員団は、市民の暮らしに寄り添い、声を聞き、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが安心して住み続けられる寝屋川市へ、また文化・芸術あふれる寝屋川市へと発展していくようがんばります。

国政では、憲法改正や社会保障費の削減、消費税増税などが進められようとしています。

日本共産党は、住民の福祉と暮らしを守る立場で、力を尽くす決意です。

**市民の願い実現へ**

- ◎地域ごとの避難計画の策定
- ◎災害時に必要な職員体制の確保



**太田 徹**

高柳二丁目49番2号  
☎ 080-3818-9722



**中林 和江**

宝町4番33号  
☎ 090-3944-8385



**石本 絵梨菜**

太秦元町9番2号  
☎ 090-8937-1934



**前川 奈緒**

萱島東二丁目16番11号  
☎ 090-1025-7503



**西田 昌美**

石津中町30番3号  
☎ 090-9713-3588

- ◎自然災害による家屋や店舗の損壊に対して、市の改修費用助成制度創設の検討・見舞金の拡充
- ◎熱中症対策として低所得者世帯へのエアコン設置補助の創設
- ◎国民健康保険料の引下げ
- ◎介護保険料の減免制度の拡充
- ◎学童保育指導員の待遇改善
- ◎35人学級と就学援助制度の拡充
- ◎特別教室へのエアコン設置
- ◎生活道路の改修や白線等の更新
- ◎低所得世帯の家賃補助など住宅のセーフティネットの整備
- ◎学校給食費の無償化
- ◎ごみ減量目標の達成
- ◎市民の要望と各地域の課題を反映した公共交通網の整備

**公共施設の在り方調査  
特別委員会 活動報告**

10月26日に、特別委員会では、大阪府北部地震で被災した市総合センターの主要な移転先となる「池の里市民交流センター」を視察、11月21日には、行政から移転に係る作業の進捗よく状況等について説明を受けました。

**中核市関係条例案に  
ついでの説明会を開催**

寝屋川市が平成31年4月1日に中核市へ移行することが、平成30年10月の閣議決定、政令公布により、正式に決定しました。

中核市への移行に伴い、大阪府が持つ約2000の事務が市に移譲され、市はこれらの事務を実施するに当たり、新たな条例の制定や、既存の条例の改正が必要となるものがあります。

そこで、市議会では、平成30年12月定例会に付議される予定の32件の中核市関係条例案について、適正に審査を行うため、平成30年11月22日に、条例案の内容について説明会を開催しました。



▶説明会の様子

大阪維新の会議員団

謹んで新年のお祝いを申し上げます

旧年中は、私どもの会派活動に格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この1年は自然災害も多く、防災の在り方を問われたと感じております。安全・安心、災害に強いまち、寝屋川の実現に向け、様々な取組を強化するよう活動して参ります。

また近年では、少子高齢化は社会問題とされ、本市では特に子育て世代、その子世代の転出超過が続いております。選ばれるまち、住み続け

たい街、魅力あるまち創りに向け、引き続き、大阪維新の会議員団は、市民の皆様の声を行政へ、また政策へとつなげて参ります。

行財政改革、議会改革の更なる推進。持続可能な寝屋川市の構築、今後も徹底したコスト削減、ICT機器の活用促進、ペーパーレス化の実現等、将来世代にツケを回さない財政運営を提案して参ります。

中核市移行を見据え、更なる行政サービスの充実と効率化、少数精鋭の組織体制の維持、人事評価制度の効果的な運用を提言し、市民の役に立つ所、市役所の実現に向け、取り組んで参ります。

本年もより一層のご指導、ごべんたつを賜りますようお願い申し上げます。

新生ねやがわクラブ議員団

「変化」を「チャンス」に！  
更なる安全・安心のまちへ

新年あけまして

おめでとうございませう。

本年は変化の年です。新元号元年であり、本市は中核市元年となります。この移行に対して単なる事務権限移譲でなく、市民サービスを向上させるチャンスと捉え、様々な具体的な政策提案を行い、市民との協働により、その実現を目指します。

昨年は自然災害により多くの被害が発生しました。避難所運営や情報伝達等の危機管理体制の充実と、防犯や浸水対策を含む安全・安心のまちづくりを強く進めて参ります。

また総合センターを含む公共施設全般の将来を見据えた改修や再編の在り方を着実に提案し実行します。さらに子育て支援や教育の充実を始め市民福祉の向上と持続可能な財政基盤の確立を目指します。

本年もよろしく申し上げます。



坂光 勇哉

池田旭町 24 番 7-205 号  
☎ 080-3111-0635



中川 健

三井が丘一丁目 4 番 8-206 号  
☎ 080-5305-3479



元橋 理浩

中神田町 9 番 11 号  
☎ 090-3350-7015



杉本 健太

香里新町 12 番 3 号  
☎ 080-1468-7842



板東 敬治

大利元町 16 番 7 号  
☎ 826-6822



馬場 才

美井元町 15 番 11 号  
☎ 837-7222



松本 順一

黒原橋町 7 番 12 号  
☎ 828-2792

# 決算審査のあらまし

9月定例会で継続審査となりました平成29年度会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を10月9日から12日の4日間にわたり開催しました。その質疑応答の一部要旨を掲載します。

## 財政運営

**問** 市として14年連続の単年度黒字についての評価は。

**答** 第五次総合計画後期基本計画及び市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策・事業にスピード感を持って取り組む中で、不断に行財政改革を推進するとともに、将来を見据え行財政基盤強化への意識を持って財政運営を進めてきたことにより、普通会計で引き続き黒字を確保することができた。

## 行財政改革の内容

**問** 平成29年度の行財政改革の効果と取組内容は。

**答** 家庭ごみ収集運搬業務の拡大、未利用地の処分などによる効果額が約3億7100万円。

また、これまでの事務事業の効率化に加え、将来にわたって持続的に発展できる基盤づくりなどの新たな視点から、公共施設マネジメントの在り方の検討、シティブロモーションの推進、スマホアプリの構築・運用などを行った。

## 安定した税源の維持、拡大を図る取組

**問** 税源涵養（かんよう）に資する具体的取組は。

**答** 都市計画道路東寝屋川駅前線事業、京阪本線連続立体交差事業、都市計画道路対馬江大利線事業などの都市基盤整備を始め、子育てリフ

レッシュ館設置事業、待機児童ZEROPランなどの子育て支援の充実、救命救急体制、防災対策の強化などの施策・事業の着実な実施は、市の魅力を高め、引いては税源涵養に資するものと考えている。

## 災害対策

**問** 浸水対策などの災害対策について、市の取組は。

**答** 高宮ポンプ場整備事業や古川雨水幹線整備事業、家庭貯留浸透施設等の設置工事などを実施するとともに、雨水タンクや止水板の設置助成など支援事業を進めた。

また、地域防災計画の改訂や避難所となる全小・中学校へ災害用備蓄品の拡充、市立小学校のうち10校に防災井戸の設置、緊急時応急給水所の整備、家庭用防災用品の購入補助を実施した。

## 避難所開設

**問** 避難所の開設に優先順位はあるのか。

**答** まず、6コミュニティセンターを開設し、次に小学校、中学校、その他の公共施設の順に開設していく。

## 長時間労働抑制システムの導入効果

**問** 平成29年度、市職員の長時間労働抑制のために試行実施したパソコンの強制終了システムの効果は。

**答** 平成29年度7、8月に一部の部局において試行実施し、前年同月と比べて約1割の時間外勤務の縮減につながった。

## シティブロモーション戦略基本方針の効果

**問** シティブロモーション戦略策定について、その効果の測定は。

**答** 各部署のプロモーションの取組を積み上げていくことで市全体のプロモーションの効果も高まるため、市全体と各部署の双方からシティブロモーションを推進していく。

今後、各部署においてシティブロモーションの6W4Hを押さえた周知方法を進めていく中で、報道回数が増加や市民意識調査の中における認知度・満足度の推移などを見ていく。

## 子育て支援事業

**問** 子育てスタート応援クーポン交付事業の取組状況は。



家庭用防災用品

平成 29 年度決算の概要

(単位：千円)

区分	歳入A	歳出B	差引(C) A-B	繰越額D	実質収支 C-D	
一般会計	89,950,148	88,325,158	1,624,990	11,091	1,613,899	
特別会計	国民健康保険	33,573,848	32,674,891	898,957	0	898,957
	介護保険	19,999,458	19,466,456	533,002	0	533,002
	後期高齢者療養	3,262,033	3,097,721	164,312	0	164,312
	後期高齢者療養 用地 先行取得事業	121,434	121,434	0	0	0
合計	146,906,921	143,685,660	3,221,261	11,091	3,210,170	

△はマイナス、消費税込 (単位：千円)

区分	収益的収入額	資本的収入額	収益的支出額	資本的支出額	差引額
水道事業会計	4,232,078	841,526	3,960,305	1,499,037	△ 657,511
	271,773		271,773		
	201,692		201,692		
	税抜処理後純利益				
下水道事業会計	6,005,784	4,129,175	5,551,776	6,017,515	△ 1,888,340
	454,008		454,008		
	387,257		387,257		
	税抜処理後純利益				

**問** クーポンの交付は平成29年10月から開始した。クーポンがあることにより、予防接種を受けることができた等の喜びの声を聴いている。

**待機児童ZEROプラン**

**問** 待機児童ZEROプラン推進事業の効果として、待機児童が減るといふことだけでなく、保育環境や市全体に効果があったのか。

**答** 以前は、5月1日時点で待機児童が発生していたが、平成29年度に

おいては、待機児童ゼロを10月1日まで継続でき、市として子育てしやすい環境を大きく前進させることができたと考えている。

**ごみ減量の取組**

**問** 3010運動(宴会時等に食べ残しを減らすための取組)コースターの成果は。

**答** 市民の方からは、3010運動の意味を初めて認識した、また市内の飲食店からは料理の食べ残しが少

なくなつたとの声を聴いている。

**問** ごみ減量マイスター(ごみ減量やリサイクルについての取組を家庭や地域で自主的に行うリーダー)養成講座への参加者及び現在のごみ減量マイスターの人数は。

**答** 養成講座は、3回実施し、12人の方が新たにマイスターに認定された。ごみ減量マイスターの人数は、平成29年度末で145人。

**樋門の遠隔操作**

**問** 排水施設等維持管理業務についての遠隔装置の増設に係る経費について、内容及び効果は。

**答** 第11水路及び御幸西の樋門遠隔操作、古川水位取込状況などの状態監視を行う。効果として、執務室で雨量計の観測を行いながら、樋門操作などを迅速に行うことができるようになった。

**問** 昨今の豪雨を考えると遠隔操作の必要性を感じる。増設の予定は。

**答** 効果的な箇所から順に進めていきたいと考えている。

**放置自転車対策**

**問** 放置自転車の撤去台数と返還台数は。

**答** 平成29年度の撤去台数は3388台。返還台数は1767台。

**問** 違法駐輪に対する市の考えは。

**答** 過去には約1万台の違法駐輪があったが、現在は3388台で減少している。今後も大きな目標として、違法駐輪がなくなるよう取り組んでいく。

**小学校トイレの洋式化**

**問** 小学校のトイレの洋式化率は。

**答** 28年度から3か年計画で改修しており、29年度末時点で約40%。

**英語村事業**

**問** 英語村事業の効果の持続性は。

**答** アンケートでは、約93%の児童生徒が、英語村に参加して外国のことや英語のことをもっと知りたくなった、と回答しており持続して学習する意欲は高まっている。

**問** 平成29年度は新たに幼稚園を対象に実施されたが、その内容は。

**答** 5歳児全員で園ごとに年1回英語村に来てもらい、園児のみの活動と、一部、小学6年生とともに名札づくりや歌を歌うなどの交流の活動を実施した。

**子どもへの暴力防止プログラム**

**問** 以前は、小学3年生のみを対象に実施していた「子どもへの暴力防止プログラム」について、平成29年度から対象者を小学3・6年生と拡充したが、その効果は。

**答** 3年、6年の2回受講することにより、更に理解度を深めることができている。

**問** 本事業は、継続的に実施する必要があると考えるが、更に対象者を拡充する予定はあるのか。

**答** 現在の実施状況を見ながら、今後関係部署と連携、協議していく。

## 総務常任委員会

総務常任委員会では、11月1日・2日に大分県の別府市と大分市を視察しました。

別府市では、窓口業務改革について、大分市では、防災に係る取組について、取組状況や概要、課題などの説明を受け、事業の経費や、職員配置・人数などの質疑応答を行いました。



別府市役所の窓口コーナーを視察

## 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会では、10月16日・17日に新潟県の新潟市と見附市を視察しました。

新潟市では、新潟駅付近連続立体交差事業について、見附市では、コンパクトシティや公共交通網について、事業の経緯や課題などの説明を受け、質疑応答を行いました。



新潟駅付近連続立体交差事業を現地視察



# 委員会視察の報告



## 厚生常任委員会

厚生常任委員会では、10月30日・31日に静岡県富士宮市と三島市を視察しました。

富士宮市では、認知症に関する取組について、三島市では、スマートウエルネスみしまの取組について、事業の概要などの説明を受け、関係機関との連携や今後の展望等について質疑応答を行いました。



三島市役所において

## 文教常任委員会

文教常任委員会では、10月29日・30日に鹿児島県の霧島市と鹿児島市を視察しました。

霧島市では、教育におけるICTの活用について、鹿児島市では、校区社会学級について、取組状況や課題などの説明を受け、システムの利用状況や事業への地域課題の反映等の質疑応答を行いました。



霧島市役所において